︻補足︼記号について

Ｎ……ナレーション

Ｍ……その人物のモノローグ（独白）

セリフの中にある括弧書き……心情や状況についての補足

登場人物

* マリア　中１女子。基本的には、明るく活発で悩みがないタイプだと自覚していた。今回、これまで遭遇したことのない人間関係問題に戸惑い、落ち込む。バスケはわりと上手い。
* 先輩Ａ　中２女子。髪の短い方。普段は優しいが、今回の「先輩―後輩」関係の問題においては過剰に先輩らしく振る舞う。
* 先輩Ｂ　中２女子。髪の長い方。先輩Ａの友人。
* 同期Ａ　中１女子。すわっている方。マリアを心配するが、先輩になにか訴えるまでの行動力はない。そのうちなんとかなるだろう、と自分を思い込ませている。
* 同期Ｂ　中１女子。立っている方。同期Ａと同様。

　１コマ目　マリアの紹介。活発なマリア。

マリアＭ 私、マリア！　中学生になって、あこがれだったバスケ部に入ったんだ！　練習はキツイけど、バスケってほんっとに楽しい！

ＳＥ シュッ、パスッ

マリアＭ よーし、だんだん入るようになってきた！　  
もっともっとうまくなるぞー！

　２コマ目　本を読み、先輩に気づかないマリア。

マリアＭ なるほどー、そういう練習方法もあるのかー。よーし今日時間があったら試してみよーっと……。（独り言）

先輩Ａ あ、１年のマリアじゃん。おはよー……  
(あいさつをしかけて、途中で無視されたと気づく)

　３コマ目　先輩たちの話。

先輩Ａ ねえー、１年のマリア！　さっき私のあいさつ無視したんだけど！

先輩Ｂ えっ、なにそれ。ありえなくない？　先輩のことなんだと思ってんの！

　４コマ目　マリアに厳しくあたる先輩たち。

ＳＥ 練習の音

先輩Ａ マ・リ・ア。ボールじゃま。早くかたづけて。あ、このボールもおねがーい。

先輩Ｂ 早く早くっ、急いでっ（半笑い。いじわるであり、指導でもあるという自己欺瞞）

マリア は、はい……。

マリアＭ え、他にも１年いるけど、私だけ……？

　５コマ目　マリアに厳しくあたる先輩たち２。

先輩Ｂ マリア、パス！

ＳＥ ビシッ

マリア うっ！

先輩Ｂ ちょっと〜、これくらい軽くとれないとだめだよ〜  
（半笑い。いじわるであり、指導でもあるという自己欺瞞）

マリア は……はい……

　６コマ目　片付け中。マリアをなぐさめる同期たち。

同期Ａ なんかさー、先輩たち、最近マリアにあたり強いよねー。ひどくなーい？

同期Ｂ まー、気にしないいこ〜。うちらがついてるからさ〜。

同期Ａ 先輩には逆らえないしねー。きっとそのうち気分も変わるっしょ〜。  
（心配だが、寄り添うことしかできない。実際のところ本当に心配もしているが、行動までは起こせない負い目をごまかそうともしている）

マリア う、うん……。ありがとう……。  
（寄り添ってくれることには感謝しつつも、根本問題は解決されていないためもやもやしている）

　７コマ目　悩むマリア。

マリアＭ はあ……。明日の部活も、先輩たちきっとあんな感じなんだろうな……。バスケは大好きだけど……なんだかちょっと行きたくないな……。どうしよう……。

終